

教育目標（定時制課程）

(1) 学校の教育目標

- ①人権尊重の理念を正しく理解し、責任と協力を重んじる人をつくる。
- ②自主・自立の精神に富んだ人をつくる。
- ③心身ともに健全な人をつくる。
- ④社会生活の基本的ルールを身に付け、社会に貢献しようとする人をつくる。

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

本校の歴史と伝統を受け継ぎ、「生徒一人一人の個に応じた伸張を図り、より確かな進路実現を推進する工業高校」との確固たる評価を確立するため、全教職員が以下のことを積極的に教育活動の全体にわたって取り組む。

- ①一人一人の生徒に、人間としての在り方・生き方を指導する「マナー教育」を推進する。
- ②有為な社会人として、広い視野に立ち社会の福祉と文化の発展に寄与する態度を養う。
- ③産業の発展に対応できる基礎的能力と創造性を育み、広く社会に貢献できる人間を育成する。
- ④生徒による授業評価や校内研修を通じた授業改善と「ものづくり」を核とした工業教育の充実を図る。
- ⑤資格取得を積極的に進め、確実な就職を支援する。加えて、多様な進路希望の実現を支援する。
- ⑥学校週5日制を踏まえ、土曜日に一日体験入学や学校説明会を実施し、本校の「良さ」を積極的にアピールし、本校への理解者を増やす。

(3) 指導の重点

1) 各教科・科目の指導

- ①定時制の生徒の実態を踏まえ、学習指導要領に則り、基礎・基本に即した指導計画を作成し、学力向上の取組に努める。
- ②実験・実習などの体験的学習を通し、生徒の興味・関心・意欲を引き出し、技術・技能を習熟させ、資格取得を推進し、進路実現に向けて組織的に指導する。
- ③生徒による授業評価を捉え、各教科・科目の授業改善を図り、授業力と授業の質の向上を図る。
- ④年間指導計画においては、読書活動の推進や批評・論述・討論など言語活動の充実を図り、公民科においては、主権者教育の推進を図る。また、教科「人間と社会」と各教科との関連を図りつつ、責任感や思いやりの心を育てる。
- ⑤道徳教育についてその全体計画を作成し、学校の教育活動全体を通じて道徳教育の充実を図る。

2) 特別活動の指導

- ①学習指導要領に則り、ホームルーム活動を通じて、個に応じたきめ細かい指導に努め、生徒の能力・適正の理解を深めつつ、その伸張を図る。また、生徒相互や生徒と教員の豊かな人間関係を通して、自主・自立の精神を育てる。
- ②生徒会活動の充実のために、学校行事を生徒の自主的な企画運営により実施できるよう教員が指導育成する。
- ③体育の授業のほか、体育的行事や部活動において、体力の向上を図る。
- ④防災活動支援隊を組織し、地域と連携した防災教育の充実を図る。
- ⑤地域行事や地域防災活動を東京ユースボランティア活動として位置づけ、オリンピック・パラリンピック教育を推進し、社会奉仕の精神を養う取り組みを行う。

3)生活指導

- ①生徒の自主性を伸ばし、基本的な生活習慣を身に付けさせ、社会人としての規範意識を高める。
- ②授業規律を徹底し、きめ細かい情報の共有と課題の把握に努め、充実した学校生活を送れるよう支援する。
- ③欠席・遅刻・早退を防止し、中途退学者の減少に努める。
- ④いじめ防止や自殺防止対策に資するため、SOSの出し方に関する教育を充実させ、問題行動の早期発見・根絶に全教職員があたり、生徒が落ち着いて学習に取り組める環境を築くとともに、薬物乱用防止教室を実施し、生徒との対話を通し思いやりのある生徒の育成に努める。
- ⑤登校時や授業の開始・終了時など、挨拶運動を励行し、生徒の健全育成に努める。

4)進路指導

- ①キャリア教育を推進し、家庭・職場・学校を結ぶ合理的な生活設計をたてるよう指導する。
- ②教育相談を充実し、生徒一人一人の進路希望を的確に把握し、生徒の個性や能力の伸長を図る。
- ③進路指導部が担任と連携し、進路ガイダンス等を計画的に行い、勤労観・就労観を育み、インターンシップの体験を通して、確かな進路選択ができるよう指導する。
- ④全日進路指導部のほか、ハローワークや企業との連携を密にし、より多くの進路情報を集め、生徒への情報提供を全教職員が協力し、組織的に行う。

5)総合的な学習の時間

- ①課題研究の履修をもって、総合的な学習の時間に代替する。
- ②課題研究は、4学年で3単位履修する。
- ③課題研究は、出欠状況、興味関心態度、提出物の提出状況、目標到達度や作品の完成度を総合的に評価する。

(4) 教育目標達成のための特色ある教育活動等

1) 教育目標達成のための特色ある教育活動

- ①工業高校の特徴を生かした「ものづくり」教育を通し、生徒の能力・適性が十分に伸張され、職業人としての資質を高め、進路希望が実現できるよう指導を徹底する。
- ②企業との連携を図り、インターンシップの体験を通して、社会人としての資質を高める。
- ③工業分野の資格取得を計画的に推進し、より確かな進路実現を図る。
- ④地域町会役員を学校運営連絡協議会の外部委員に招き、地域行事に積極的に参加することなど、地域との連携を図り、地域に開かれた学校づくりを行う。
- ⑤生徒の人権に配慮しつつ、学校内外での人間関係を築くために、人権学習教室を計画的に行う。

2) 学校週5日制への対応

- ①土曜日に一日体験入学や学校説明会を実施し、中学生がより参加しやすいようにする。
- ②各種資格取得のための講習や補習を土曜日に実施し、個に応じた伸張を図る。